

## 第4学年 社会科「環境を守る小笠原村」

2組 授業者： 浅野 冬馬

### 1 単元の目標

#### (1) 知識及び技能

小笠原村の位置、豊かな自然環境、人々の活動や産業の歴史的背景、人々の協力関係などを基に、小笠原村では人々が協力し、豊かな自然環境を保護・活用しながら、観光などの産業の発展に努めていることを理解している。

小笠原村について地図帳や各種の資料で調べ、必要な情報を集めて読み取ったり、白地図やガイドマップなどにまとめたりすることができる。

#### (2) 思考力、判断力、表現力等

小笠原村の自然環境と人々の活動から問い合わせを見いだし、人々の活動や地域の特色などについて考えを表現したり、根拠や例を示して話し合ったりしている。

小笠原村の人々の活動や産業、地域の発展を関連付けたり、自分たちの住む地域と比較したりしながらその特色を考え、文章で記述したり、白地図にまとめたことをもとに説明している。

#### (3) 学びに向かう力、人間性等

豊かな自然環境を保護・活用している小笠原村の様子について主体的に学習問題を追究・解決しようとしている。

### 2 指導計画

時	学習活動
1	○小笠原村に興味関心をもち、その位置や気候の様子などを理解する。
2	○小笠原村の自然の様子を調べ、自然が豊かであることを理解する。
3	○疑問に思ったことや調べたいことから学習問題をつくり、予想を基に学習計画を立てる。
4	○①農業・漁業②観光業③世界自然遺産④自然保護の4種類から選択し、調べ学習を行う。
5	○①農業・漁業②観光業③世界自然遺産④自然保護の4種類から選択し、調べ学習を行う。
6	○①農業・漁業②観光業③世界自然遺産④自然保護の4種類から選択し、調べ学習を行う。
7	○自分が調べてまとめた内容を友達と交流し、情報共有を行う。
8	○調べたことをガイドマップやガイドブックなどに整理し、小笠原村の自然環境を生かした人々の暮らしの工夫や努力についてまとめる。
9	

### 3 本時の展開

#### (1) 本時の目標

小笠原村の人々が、自然環境を生かして行っている暮らしや産業の工夫について調べ、理解することができる。

#### 学習のねらいを達成するための有効な選択肢

調べる項目に選択肢を用意することで、児童がより深く調べたり、学んだりすることをねらう。

#### 教師の具体的な支援

調べ学習の場面で課題解決のヒントに気付かせる言葉掛けをすることで、学習問題や本時の目標とのつながりを確認することをねらう。

#### 一人1台端末の効果的な活用

自分の調べたことをスライドにまとめ、共有機能を用いて情報の訂正や付け足しをすることで、学習内容が深まることをねらう。

#### (2) 本時の「選択」場面



見どころ！！

(3) 本時の流れ

学習活動	☆指導上の留意点 ◇評価【観点:方法】
めあて 小笠原村の人々は自然環境を生かしてどのような暮らしをしているかを調べよう。	
○本時のめあてについて理解する。	☆児童が取り組む内容の「選択肢」を示す。
○何をするのか見通しをもつ。	<p><b>選択:課題設定</b></p> <p>①農業・漁業 ②観光業 ③世界自然遺産 ④自然保護</p>
○選択肢から一つ選び、教科書やインターネットを使って調べる。	<p><b>教師の具体的な支援</b></p> <p>課題解決につながるような言葉掛けをする。</p> <p><b>一人1台端末の効果的な活用</b></p> <p>自分が調べたことをスライドにまとめる。</p> <p>◇小笠原村の人々の活動や産業の歴史的背景、人々の協力関係などについて、各種の資料で調べて、必要な情報を集め、読み取り、小笠原村の様子を理解している。【知識及び技能:スライド】</p> <p>◇小笠原村の自然環境と人々の活動から問い合わせを行い、人々の活動や地域の特色などについて考えを表現したり、根拠や例を示して伝え合ったりしている。【思考力、判断力、表現力等:話し合い】</p>
○調べたことを友達と伝え合い、新しい情報を付け足しする。	
○振り返りを行う。	☆今日学習して分かったこと、次時に学びたいことなどを振り返りシートに書かせる。